

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

第1 概要

平成30年度の畜産をめぐる情勢は、飼料価格及び生産資材の高止まりにより、畜産経営に大きな影響を与えている。一方、畜産物の価格は全般的に各畜種とも高相場を維持していたものの、飼養頭数の減少による生産基盤の脆弱化による要因が大きく、予断を許さない状況である。

養鶏経営では、平成30年に入り15年ぶりとなる異常な低卵価となり、また、養牛経営では、肉用子牛や初妊牛価格の高騰が継続しており、より厳しい経営環境が予想される。

とりわけ、家畜衛生面においては、近隣諸国において口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等の悪性伝染病が継続発生する中、我が国で26年ぶりに岐阜県で発生した「豚コレラ」が、本年2月には本県でも発生し、5月末現在で、豊田市、田原市及び瀬戸市の21戸32農場で約5万1千頭もの豚が殺処分されている。また、原因の一つと考えられている野生いのししからウイルスが多数分離されており、大きな不安材料が存在していることから、一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。

さらには、昨年12月30日にTPP11が、本年2月1日には日EU・EPAが発効され、今後、さらなる厳しい経営環境になることが懸念されている。

こうした情勢を背景に、国は畜産関連に手厚い予算を措置し、TPP等関連対策として畜産クラスター事業をはじめ、中核的な担い手に対する重点的な各種施策を推進している。

このような中、当協会は平成25年度から公益社団法人に移行して6年が経過し、会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。

公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金の交付はなかったものの、肉用牛肥育経営安定特別対策及び新たに法制化された肉用牛肥育経営安定制度においては、交雑種・乳用種で継続発動があり、補填金の交付を実施した。公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行ない、公益目的事業3において、畜産経営体支援、家畜防疫支援を実施し、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 定時総会 平成30年6月28日(木)

桜華会館4階松の間において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算の承認に関する件

(2) 臨時総会 平成31年3月28日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

報告事項 平成30年度収支予算補正に関する件

平成31年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件

- 第1号議案 平成31年度会費徴収に関する件
- 第2号議案 役員の報酬に関する件
- 第3号議案 役員の補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成30年6月12日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに1項目について報告した。

議事

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算の承認に関する件
- 第2号議案 諸規程の一部改正に関する件
- 第3号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第4号議案 家畜防疫互助事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第5号議案 平成30年度定時総会開催に関する件
- 報告事項 職務執行状況等

(2) 第2回理事会 平成30年11月16日(金)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件

(3) 第3回理事会 平成30年12月17日(木)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件
- 第2号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の制定に関する件

(4) 第4回理事会 平成31年3月11日(月)

大津橋ビル5階中会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

- 報告事項 職務執行状況に関する件
- 第1号議案 平成30年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 平成31年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
- 第3号議案 平成31年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 平成31年度歳計現金預入先に関する件
- 第5号議案 平成31年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
- 第6号議案 役員の報酬に関する件
- 第7号議案 平成31年度予防注射料金に関する件
- 第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
- 第9号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の一部改正に関する件
- 第10号議案 肉用牛肥育経営安定制度に係る事務委託先に関する件
- 第11号議案 肉用牛肥育経営安定制度に係る事務手数料に関する件
- 第12号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間期中の返還に関する件
- 第13号議案 役員の補欠選任に関する件
- 第14号議案 臨時総会の招集に関する件

3. 監事会

定期監査 平成30年6月8日(金)

大津橋ビル5階小会議室において、平成29年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	本年度当初 (30年4月1日)	役員補選 (31年3月31日)	増 減		本年度末 (31年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	1	1	1	9
監 事	3	0	0	0	3

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職員数(平成31年3月31日現在)

職 員 7名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	3	2	5
総務管理課	1	—	1
計	7 <1>	3	10 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
30. 4. 13	東 京 都	平成30年度中央打合会
30. 4. 19	東 京 都	楽酪・楽酪GO事業第1回全国事業推進会議
30. 4. 24	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
30. 4. 25	名 古 屋 市	愛知県畜産課事業説明会
30. 4. 25~26	東 京 都	畜産特別資金等担当者会議
30. 5. 8	岡 崎 市	愛知県県酪農業協同組合事業説明会
30. 5. 23	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
30. 5. 28	東 京 都	全国農場HACCP認証推進会議
30. 5. 30~6. 1	名 古 屋 市	国際養鶏養豚総合展
30. 5. 31	名 古 屋 市	いいともあいち運動推進協議会
30. 6. 5	名 古 屋 市	一般社団法人名古屋コーチン協会総会
30. 6. 6	名 古 屋 市	農協畜産(スモール・子牛)担当者連絡協議会
30. 6. 8	東 京 都	地域豚疾病全国推進会議
30. 6. 14	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会総会
30. 6. 20	豊 橋 市	平成30年度系統三元豚枝肉共励会
30. 6. 20	東 京 都	一般社団法人全国肉用牛振興基金協会総会
30. 6. 21	東 京 都	公益社団法人中央畜産会総会
30. 6. 27	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県農業会議通常総会
30. 6. 27	岡 崎 市	第60回愛知県人工授精師協会通常総会
30. 6. 29	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会通常総会
30. 6. 29	名 古 屋 市	愛知県養豚農協通常総会

年 月 日	場 所	会 議 名 等
30. 7. 3	岡 崎 市	畜産フェスタ打合会議
30. 7. 10	名 古 屋 市	愛知県畜産協議会打合会
30. 7. 11	東 京 都	地域自衛防疫全国会議
30. 7. 13	東 京 都	馬飼養衛生管理全国推進会議
30. 7. 24	幸 田 町	愛知県酪農農業協同組合総会
30. 7. 31	岡 崎 市	愛知県酪農政治連盟総会
30. 8. 8～9	岡 山 県	畜産特別資金等ブロック会議
30. 8. 9	名 古 屋 市	東海地域生乳安全安心協議会
30. 8. 20	岡 崎 市	畜産フェスタ打合会議
30. 8. 21	名 古 屋 市	愛知県水田農業検討会議
30. 8. 22	岡 崎 市	愛知県死亡牛処理推進協議会
30. 8. 28	東 京 都	中央畜産会管理責任者研修会
30. 8. 31	東 京 都	畜産クラスター事業畜産経営体調査全国推進会議
30. 9. 3	名 古 屋 市	みかわ牛枝肉共励会
30. 9. 7	岡 崎 市	HPAI・FMD県域研修会
30. 9. 10	名 古 屋 市	愛知県豚コレラ防疫対策会議
30. 9. 11	名 古 屋 市	自民党県支部連農政懇談会
30. 9. 13～14	富 山 県	肉用子牛運営適正化事業北陸東海近畿ブロック研修会
30. 9. 18	名 古 屋 市	愛知県農林漁業人権問題啓発推進連絡会議
30. 9. 28	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業第2回全国推進会議
30. 9. 28	岡 崎 市	養牛実用化技術研究会
30. 10. 1	岡 崎 市	畜産フェスタ会場事前確認打合会議
30. 10. 3	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国統一電算処理システム研修会
30. 10. 5	武 豊 町	畜産クラスター全国推進重点調査検討会
30. 10. 12	名 古 屋 市	北海道地震、台風21号災害支援説明会
30. 10. 16～17	南 知 多 町	東海ブロック畜産協会連絡協議会
30. 10. 23～24	徳 島 県	家畜防疫（移動式・焼却炉）演習
30. 10. 26	名 古 屋 市	人権問題の講演と映画の会
30. 10. 28	岡 崎 市	畜産フェスタ
30. 11. 7	名 古 屋 市	GAP取得チャレンジ取組セミナー
30. 11. 10	豊 橋 市	たまニコ2018愛知大会
30. 11. 11	岡 崎 市	愛知県ホルスタイン共進会
30. 11. 14	東 京 都	地域豚疾病緊急対策推進事業検討会・委員会
30. 11. 15	豊 橋 市	豊橋市養鶏農協70周年記念式典
30. 11. 16	名 古 屋 市	馬事畜産振興協議会打合会
30. 11. 27	東 京 都	第32回全国優良畜産経営管理技術発表会及び第4回エコフィード活用畜産物生産発表会
30. 11. 28	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策第3回全国推進会議
30. 11. 28	東 京 都	畜産近代化リース業務推進事務打合せ会議
30. 11. 29	岡 崎 市	繁殖管理講習会
30. 12. 3～4	千 葉 県	家畜伝染病管理対策強化講習会
30. 12. 6	岡 崎 市	畜産フェスタ打合せ会議(反省会)
30. 12. 6	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策システム研修会
30. 12. 11	名 古 屋 市	農業技術体系化推進会議
30. 12. 18	名 古 屋 市	畜産技術業績発表会
30. 12. 24	名 古 屋 市	畜産フェア(名古屋競馬場)
30. 12. 25	名 古 屋 市	第2回愛知県豚コレラ防疫対策会議

年 月 日	場 所	会 議 名 等
31. 1. 9	名 古 屋 市	豚コレラウイルス農場侵入防止対策打合会
31. 1. 11	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度全国会議
31. 1. 16	名 古 屋 市	肉用牛生産基盤強化シンポジウム
31. 1. 17	東 京 都	畜産クラスター事業畜産経営体調査全国推進会議
31. 1. 30	東 京 都	平成30年度第2回中央打合会
31. 1. 31～2. 1	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会
31. 2. 1	名 古 屋 市	東海農林漁業成長産業化推進会議
31. 2. 13～14	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策無事戻し研修会
31. 2. 14	豊 橋 市	経済連豚コレラ関係打合会
31. 2. 28	名 古 屋 市	農作業安全推進東海ブロック会議
31. 3. 1	東 京 都	中央畜産会管理責任者等研修会
31. 3. 14	東 京 都	畜産クラスター事業全国推進会議
31. 3. 18	岡 崎 市	家畜生産農場清浄化支援対策事業牛疾病対策講習会
31. 3. 19	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議
31. 3. 20	岡 崎 市	家畜疾病・自然災害緊急対策用備蓄資材確認
31. 3. 26	名 古 屋 市	あいち産豚肉の消費拡大に向けた取組を進めるための 知事表敬訪問
31. 3. 26	名 古 屋 市	風評被害・消費拡大実行委員会 設立会議
31. 3. 27	名 古 屋 市	家畜防疫互助事業打合せ会議
31. 3. 27	名 古 屋 市	愛知県農業会議臨時総会
31. 3. 29	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会臨時総会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

平成30年度は、堅調な子牛価格により補給金交付の実績はなし(「その他肉専用種」で発動があったが本県は該当牛がいなかった)。

- ・ 事務委託先団体調査指導 39日 延べ 41団体
 - ・ 委託団体数 13団体、契約生産者 189者
 - ・ H30.1~12月 個体登録頭数 6,749頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | | |
|---------|-------|---|
| ・ 肉専用種 | 1,212 | 頭 |
| ・ 肉専その他 | 2 | 頭 |
| ・ 乳用種 | 1,762 | 頭 |
| ・ 交雑種 | 3,773 | 頭 |

① 生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 189者	内訳：個人経営 154者、組合法人 4者、会社法人 31者
------------	-------------------------------

② 事務委託先

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 生産者積立金造成実績 (H30.1~12月)

【生産者積立金単価】登録日：6月齢-1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	300	300	600	1,200
その他肉専用種	3,100	3,100	6,200	12,400
交雑種	600	600	1,200	2,400
乳用種	1,600	1,600	3,200	6,400

(単位:円)

区 分	単価	頭数	造 成 額 内 訳			合 計
			生産者 負担金	県生産者 積立助成金	機構生産者 積立助成金	
黒毛和種	1,200	1,212	363,600	363,600	727,000	1,454,400
その他肉専種	12,400	2	6,200	6,200	12,400	24,800
乳用種	6,400	1,762	2,819,200	2,819,200	5,638,400	11,276,800
交雑種	2,400	3,773	2,263,800	2,263,800	4,527,600	9,055,200
計		6,749	5,452,800	5,452,800	10,950,600	21,811,200

④ 生産者補給金交付実績

平成30年度は交付実績なし

その他肉専で30年度第2四半期に16,000円/頭の発動があったが本県に該当なし。

<四半期別平均売買価格>

(単位:円)

区 分		黒毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種
保証基準価格		339,000	221,000	136,000	210,000
		341,000	222,000	141,000	216,000
		531,000	314,000	161,000	269,000
合理化目標価格		282,000	150,000	93,000	152,000
		284,000	151,000	98,000	158,000
		421,000	249,000	108,000	212,000
平均売 買価格	第4四半期	782,000	252,000	262,700	394,500
	第1四半期	765,200	301,700	246,100	392,400
	第2四半期	757,300	206,000	243,200	395,700
	第3四半期	781,800	332,900	266,100	441,400

*保証基準価格及び合理化目標価格 上段H30.1~3、中段H30.4~12.29、
下段H30.12.30~

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用
専用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業。

(事業参加者78名、30年度は「その他肉専用種」で発動があるも本県は該当牛なし)

参考:発動基準

(単位:円)

区 分	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	460,000	300,000

※当事業は、TPP11協定の発効に伴い平成30年12月29日(対象期間)で完了。

(肉用子牛生産者補給金制度の上乗せ事業であったが、肉専用種の保証基準価格及び
合理化目標価格を大幅に引上げ一本化となった。)

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回
る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、
全国統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。業務推進にあつては、生産者の肥育牛の個体登録、及びその販売確認等の効率かつ円
滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施するとともに、第3
業務対象年間(平成28~30年度)においても、肉用牛肥育を取り巻く経営環境を考
慮し、本来四半期単位での補填業務を、引き続き月毎に交付する特例措置で行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者数 184者
- ・推進会議等 担当者推進会議 1回 (8/7 岡崎市)
- ・調査指導等 11回 11団体
- ・平成30年4月期～平成30年12月期 個体登録頭数 13,995 頭
肉専用種 2,231頭、交雑種 10,021頭、乳用種 1,743頭

① 生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者 184者	内訳：個人経営 131者、組合法人 3者、会社法人 50者
------------	-------------------------------

② 委託先契約締結状況

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肉用牛肥育安定基金造成実績

【基金造成単価】

(単位：円)

	平成29年度			平成30年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	6,000	18,000	24,000	5,000	15,000	20,000	25ヵ月齢
交雑種	19,000	57,000	76,000	13,000	39,000	52,000	22ヵ月齢
乳用種	22,000	66,000	88,000	11,000	33,000	44,000	18ヵ月齢

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	頭数	生産者積立金	機構補助金	
肉専用種	2,700(11)	13,933,000	41,964,000	55,897,000
交雑種	12,926(69)	178,391,000	537,864,000	716,255,000
乳用種	2,322	31,317,000	93,951,000	125,268,000
計	17,948(80)	123,641,000	673,779,000	897,420,000

※ 造成頭数()内のうち数は、災害支援対策で生産者積立金の免除となった頭数

④ 肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区分	1月期精算*	H30.2月期	3月期	4月期	5月期	
肉専用種	頭数	168	201	176	278	212
	単価	1,900	0	0	0	20,500
	金額	319,200	0	0	0	4,346,000
交雑種	頭数	994	1,095	1,136	1,253	1,095
	単価	4,000	72,300	84,600	60,800	54,300
	金額	3,976,000	79,168,500	96,105,600	76,182,400	59,458,500
乳用種	頭数	214	221	238	212	217
	単価	4,000	31,700	28,500	38,000	23,500
	金額	856,000	7,005,700	6,783,000	8,056,000	5,099,500

(単位:頭、円)

区 分		1月期精算*	H30.2月期	3月期	4月期	5月期
計	頭 数	1,376	1,517	1,550	1,743	1,524
	うち交付	1,376	1,316	1,374	1,465	1,524
	金 額	5,151,200	86,174,200	102,888,600	84,238,400	68,904,000

区 分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉 専 種	頭 数	194	284	206	203	190
	単 価	28,300	6900	39,300	15,100	0
	金 額	5,490,200	1,959,600	8,095,800	3,065,300	0
交 雑 種	頭 数	1,032	1,222	1,079	1,086	1,212
	単 価	75,000	71,000	50,800	36,700	25,200
	金 額	77,400,000	86,762,000	54,813,200	39,856,200	30,542,400
乳 用 種	頭 数	199	250	194	208	234
	単 価	21,900	25,800	25,400	40,200	33,700
	金 額	4,358,100	6,450,000	4,927,600	8,361,600	7,885,800
計	頭 数	1,425	1,756	1,479	1,497	1,636
	うち交付	1,425	1,756	1,479	1,497	1,446
	金 額	87,248,300	95,171,600	67,836,600	51,283,100	38,428,200

区 分		11月期	12月期	1～12月期の計
肉 専 種	頭 数	306	443	2,861
	単 価	0	0	(うち交付頭数 1,267)
	金 額	0	0	23,276,100
交 雑 種	頭 数	1,380	1,524	14,108
	単 価	0	0	(うち交付頭数 11,204)
	金 額	0	0	604,264,800
乳 用 種	頭 数	220	220	2,627
	単 価	33,400	39,700	(うち交付頭数 2,627)
	金 額	7,348,000	8,734,000	75,865,300
計	頭 数	1,906	220	19,596
	うち交付	220	39,700	15,098
	金 額	7,348,000	8,734,000	703,406,200

H30.1月精算→5月交付、2～12月期→4月～2月交付

※当事業は、TPP発効に伴い平成30年12月29日で完了。

法制化されたエの肉用牛肥育経営安定制度へ移行。

エ 肉用牛肥育経営安定制度（平成30年12月30日開始）

畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛の交付金の交付等業務を、農林水産大臣指定の積立金管理者として、(独)農畜産業振興機構と連携して実施し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、制度に参加する肉用牛生産者に対して肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和するため、機構の肉用牛肥育経営安定交付金(3/4)と生産者積立金からの補填金(1/4)による肉用牛交付金の交付を行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者数 159者
- ・平成30年12月期～平成31年3月期 個体登録頭数 5,380頭
肉専用種 823頭、交雑種 3,840頭、乳用種 717頭

① 生産者補填金交付契約締結者（肉用牛肥育経営安定交付金制度登録生産者）

契約生産者 159者	内訳：個人経営 108者、組合法人 3者、会社法人 48者
------------	-------------------------------

② 委託先団体

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肉用牛肥育安定基金造成実績 (H30.12.30~H31.3)

【基金造成単価(生産者負担金)】

(単位:円)

区分	平成30年度			積立月 (達する月)
	単価	頭数	計	
肉専用種	6,000	906	5,436,000	25ヵ月齢
交雑種	17,000	3,888	66,096,000	22ヵ月齢
乳用種	19,000	833	15,827,000	18ヵ月齢
計	—	5,621	87,359,000	—

④ 肉用牛交付金の交付実績

(単位:頭、円)

区分		H30.12月期	H31.1月期(概算)
肉専用種	頭数	0	139
	単価	0.0	0.0
	金額	0	0
交雑種	頭数	0	999
	単価	0.0	0.0
	金額	0	0
乳用種	頭数	0	184
	単価	0.0	50,562.5
	金額	0	9,303,498
計	頭数	0	1,322
	うち対応	0	184
	金額	0	9,303,498

○ 肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務

肉用牛肥育経営安定特別対策事業から、畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛交付金の交付等業務への移行を図った。

- ・委託団体数 11団体
- ・会議等 8回(県内担当者会議1回、地域説明会7回/6地域)
- ・肉用牛生産者要件審査申請書提出 159者

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

- ① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・（公社）中央畜産会（委託金・助成金）・図書斡旋収入）
 - ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク（LIN）上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
 - ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
 - ・県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施、又は関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
 - ・家畜衛生体制強化を図るため、衛生体制強化基金事業を実施した。
 - ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。
 - ・畜産クラスター事業に関する畜産経営体調査（全国推進事業）を実施した。
 - ・家畜排せつ物利活用推進としてメタン発酵処理施設の事例調査を実施した。
- ② 畜産特別資金推進指導（（公社）中央畜産会補助金）

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。

 - ・現地検討会・指導会の実施 5回（6/4、8/1、9/28、11/28 1/30）
対象：酪農家 1戸（大家畜経営改善支援資金）
肉牛農家 1戸（畜産経営維持緊急支援資金）
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回（平成31年3月25日 豊橋市）
- ③ 畜産近代化リース貸付指導（（公財）畜産近代化リース協会委託金）

畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。

 - ・調査指導件数 9戸、 10基（H31.1月）
（半田市2戸、西尾市1戸、豊橋市2戸、田原市4戸）
 - ・普及啓発資料作成 400部
- ④ 畜産クラスター機械導入体制強化（（公社）中央畜産会委託金）

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業推進会議の開催、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。

 - ・事業推進会議 1回 平成30年4月25日 名古屋市
 - ・事業参加承認 10協議会 49件 197,306千円（補助金額）
 - ・現地確認調査 4件（1/31 新城市、3/7 田原市、3/8半田市）
- ⑤ 酪農経営体生産性向上（労働負担軽減）（（公社）中央畜産会委託金）

酪農経営体生産性向上緊急対策（労働負担軽減）事業の機械装置導入の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業推進会議の開催や提出書類の点検等を実施し、酪農家の労働負担軽減・省力化を推進した。

 - ・県域窓口団体として要望・申請とりまとめ等
 - ・1応援会議 13件 43,317千円（補助金額）
- ⑥ 酪農労働省力化施設整備（（公社）中央畜産会委託金）

酪農労働省力化施設整備対策事業の機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業推進会議の開催や提出書類の点検等を実施し、酪農家の労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化並びに安定的な発展を推進した。

- ・ 県域窓口団体として要望・申請とりまとめ等
- ・ 1 応援会議 2 件 3 1, 1 7 0 千円 (補助金額)

⑦ 畜産団体調整機能強化 ((公社) 中央畜産会委託金)

畜産経営において生産性向上、生産コスト低減は重要な要因であるため、食品循環資源を初めとする地域の有用資源の飼料利用を実践する県内の経営体を講師に、取組事例等を紹介する講演会及び経営改善に向けての意見交換会により担い手同士による連携を図る計画をすすめたが、県内の豚コレラ発生により中止とした。

また、地方競馬開催の支援促進として、畜産フェスタにおいて競馬関係者と協力し競馬の疑似体験企画を催し、一般来場参加者へ県畜産物を配布しながら愛知県畜産特別競走を初めとした名古屋競馬場開催レースのPRを行った。

⑧ 農場HACCP認証支援地域強化促進 ((公社) 中央畜産会委託金)

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知など、農場HACCP認証の広範勝加速的な普及を図った。

- ・ 農場HACCP認証普及推進会議の開催：2回(60名)
- 平成30年7月20日 豊橋市、平成30年11月22日 西尾市

⑨ 日本版畜産GAP指導推進支援 ((公社) 中央畜産会委託金)

日本版畜産GAPに係る地域の農場指導に取り組む指導員を育成するため、日本版畜産GAPの指導員育成研修の受講を支援し、健全な畜産経営の育成と安全な畜産物の供給推進を行い畜産の振興を図った。

- ・ 指導員育成研修会受講支援 10人

⑩ 地域自衛防疫取組促進対策 (家畜衛生対策推進協議会助成金)

伝染性疾病発生時の防疫対応等を支援するため、防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。

- ・ 地域自衛防疫取組促進会議：2回(28名) 平成30年9月7日 岡崎市
- 平成31年2月28日 名古屋市

県域防疫演習 1回 平成30年9月7日：県と共催213名 岡崎市

「鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会」

講演：鳥インフルエンザ・口蹄疫の発生状況・香川県の発生等について

講師：香川県農政水産部畜産課 笹田布佐子 先生

講師：愛知県中央家畜保健衛生所 前田有紀子 専門員

- ・ 地域防疫演習 11回 (10/5、10/18、10/22、10/26、11/20、11/26、12/26、1/13、1/23、3/14、3/24)

⑪ 地域豚疾病緊急対策推進 ((公社) 中央畜産会委託金)

- ・ 地域推進会議 4回：5/21 田原市、6/29 岡崎市、8/2 豊橋市、12/13 岡崎市
- ・ 連携体制打合せ 2回：6/29、12/13
- ・ PED清浄化推進検査：抗体検査 557検体、遺伝子検査 200検体
- ・ PRRSモニタリング検査：
抗体検査 1,111検体、遺伝子検査 401検体、遺伝子解析 40検体
- ・ 巡回指導 40農場

⑫ 愛知県和牛改良協会の事業推進指導 (愛知県和牛改良協会委託金)

- ・ 推進会議等への出席 平成30年8月21日
- ・ 登録業務及び経営指導 14回 延べ73農場

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社) 中央畜産会助成金)

乗用馬の飼養衛生管理向上のため、乗用馬関係者を対象に飼養衛生管理技術講習会や馬獣医療実態調査を実施した。

- ・ 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回
平成30年12月12日 名古屋市 9名
- ・ 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回
平成30年12月12日 名古屋市 15名
講演：馬の輸入検疫の現状と衛生管理対策の留意事項について
講師：日本中央競馬会 馬事部 防疫課 岡野篤
- ・ 地域馬獣医療実態調査：32施設

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

① 畜産物に関する理解醸成・情報提供 (名古屋競馬株式会社補助金)

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

(参考)

- ・ 畜産フェスタの開催
期 日：平成30年10月28日
開催場所：岡崎市 (愛知県畜産総合センター)
畜産物の配布：牛乳入りパン、ヨーグルト、コーチン・キーマカレー、ハチミツ
- ・ 畜産フェアの開催
期 日：平成30年12月24日
開催場所：名古屋市(名古屋競馬場)
畜産物の配布：名古屋コーチンカレーと燻製うずら卵のセット
(1,000名) 全酪6Pチーズと燻製うずら卵のセット
スモークチーズと燻製うずら卵のセット

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・ 高橋養鶏賞選考委員会 平成30年5月17日
- ・ 第43回高橋養鶏賞受賞者 幡野正二 氏 (経営部門)
平野耕二 氏 (経営部門)
- ・ 高橋養鶏賞表彰式 平成30年6月28日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・ 4団体催事：申請件数6件 表彰点数10点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続で

きる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策（（独）農畜産業振興機構補助金）

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。また、平成30年9月の台風21号及び24号による牛舎等の被災に対して、災害緊急支援対策事業に取り組んだ。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 126頭
（JA愛知東49頭、JA西三河3頭、JAあいち三河4頭、JAあいち知多34頭、JA愛知みななみ17頭、JA豊橋5頭、愛知県経済連1頭、愛知県酪農協9頭、配飼協4頭）
- ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
（愛知東農業協同組合：肉用牛ヘルパー利用組合）
実績・・・飼養管理 2戸 のべ33日
家畜市場関係（市場内引回し等）333頭
- ・災害緊急支援対策実施件数 3件（設楽町1件、田原市2件）

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援（農林水産省補助金及び手数料）

慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病対策検討会の開催 3回（5/23、5/31、12/4）岡崎市 43名
- ・ヨーネ病対策講習会の開催 1回（2/6）岡崎市 30名
- ・ヨーネ病検査 0農場 0頭
- ・牛白血病対策検討会の開催 3回（5/23、5/31、12/4）岡崎市 43名
- ・牛白血病対策講習会の開催 1回（2/6）岡崎市 30名
- ・牛白血病検査 59農場 1,961頭
- ・BVD-MD対策検討会の開催 3回（5/23、5/31、12/4）岡崎市 43名
- ・BVD-MD対策講習会の開催 1回（2/6）岡崎市 30名
- ・PI牛とう汰 5農場 5頭
- ・農場飼養衛生管理強化対策
飼養衛生管理強化のための農場指導 3診療施設 58農場
- ・ワクチン接種技術検討会の開催 2回（7/26、3/13）名古屋市 19名
- ・伝染病予防ワクチン接種状況
牛 計 6,732頭
 - ・牛異常産三種混合ワクチン 2,147頭
 - ・牛異常産四種混合ワクチン 1,263頭
 - ・アカバネ病単味ワクチン 3,322頭
- ・協会独自事業(家畜衛生事業)
予防ワクチン接種事業
牛 計 34,096頭
 - ・イバラキ病生ワクチン 6,162頭
 - ・牛五種混合生ワクチン 6,262頭
 - ・ // +HS不活化ワクチン 627頭
 - ・牛五種混合不活化ワクチン 1,678頭
 - ・牛六種混合（L）ワクチン 790頭
 - ・牛六種混合（LK）ワクチン 8,007頭
 - ・ボツリヌスワクチン 10,570頭

② 家畜防疫互助基金造成等支援（（独）農畜産業振興機構補助金）

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対

し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

【加入状況】

(H31. 3. 31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	93	10,570	2,261,490
肉用牛	136	28,583	3,144,455
牛 計	189 (うち乳肉40)	39,153	5,405,945
豚	115	255,586	10,306,880
合 計	304	294,739	15,712,825

【加入率】

(県内飼養：H30. 2. 1 畜産統計)

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	307	24,400	332	42,200	198	332,700
契 約	93	10,507	136	28,583	115	255,586
加 入 率	30 %	43 %	41 %	68 %	58 %	77 %

事業推進会議等の開催 2回(12/13、2/28)名古屋市 31名

③ 海外悪性伝染病対策支援(自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

④ 馬伝染性疾病防疫強化特別対策((公社)中央畜産会助成金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回(10/2、12/12)名古屋市 18名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進 対象施設 18施設、151頭(乗用馬)

2 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分(面積比)により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。(事務所入居率 57%)